



明倫

舞鶴市立明倫小学校

令和2年4月8日

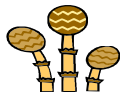


自然現象から学ぶ子どもに

この春は例年になく早い桜の開花で、始業式にはきれいな桜を見ることができました。今年は新型コロナウイルス感染症対策で、行動が制限された休みが続きましたが、元気な子どもたちの姿を見てありがたく思いました。

本校は京都府小学校教育研究会の研究協力校として「理科」の研究を重点として取り組んでいます。今年で3年目となり、秋にはこの取組の様子を京都府下の先生方に公開する予定です。子どもたちは理科的なことに興味を持ち、科学的な思考も育ちつつありますので、子どもたちの成長を楽しみに研究を進めていきたいと思えます。

私たちの生活は、人々の知恵を集めて便利になっています。身近にある物に目を向け、その便利さや人間の工夫に気付くことができるようにさせたいと考えています。自然現象には生活を便利にするヒントがたくさんあり、実際に人間は応用しています。自然現象からその不思議さに気付き生活の中に利用していく、そんな力を身に付けさせたいと考えています。



校長 池田 弘一
職員一同

今年度の教育目標を次に掲げます。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

教育目標

校名「明倫」の伝統を受け、心豊かでたくましく、
自ら学び世界にはばたく児童の育成

目指す子ども像

自ら学び続ける子
人とのつながりを大切にする子
心もからだもきたえる子
ふるさとを愛し誇りに思う子

目指す教師像

子どもの声に耳を傾け
ともに歩む教師
教える道を 深く探求する教師
地域を愛し 地域に尽くす教師

新型コロナウイルス感染症対策について

現在、舞鶴市内で感染者は出ておりませんが、京都府下では感染者が広がっています。そのため、当分の間授業を短縮して行います。4月13日(月)より給食が始まりますが、下校時刻は14時15分ごろと早くなります。4月の参観日は中止し、様々な行事も考慮しながら行います。

前年度の未指導分の学習内容も、4月当初に実施したり他の学習内容と関連付けて指導したりするなど、工夫して指導します。子どもたちの健康面に配慮しながら教育活動を進めていきます。